

第2回定例会
5月議会



新議長のもとで行われた副議長選挙

選挙後初の議会開会 市議会の新体制決まる

議長に尾倉議員、副議長に灰野議員を選出

令和5年第2回定例会5月議会が5月15日から16日まで開かれました。議長、副議長をはじめ、各常任委員会などの構成が決まり、市議会の新しい体制がスタートしました。
また、令和5年度明石市一般会計補正予算(第1号)の議案1件を可決、監査委員選任の議案2件に同意、報告6件を了承しました。

5月15日に開かれた本会議では、議長選挙と副議長選挙を行いました。投票の結果、議長には尾倉あき子議員(公明党)を、副議長には灰野修平議員(自由民主党)を選出しました。両議員とも初めての就任です。また、議員の中から選任される2名の監査委員には、竹内きよ子議員(明石かがやきネット)と井藤圭順議員(自由民主党)を選任することに同意しました。このほか、総務、文教厚生、生活文化、建設企業の各常任委員会、議会運営委員会の委員長、副委員長および委員を選任しました。(新しい委員会の構成は2面に掲載しています) なお、今回の本会議で

持続可能なまちづくりを目指して



議長
尾倉あき子
在職5期。副議長、監査委員、総務常任委員長、議会運営副委員長など歴任。63歳



副議長
灰野修平
在職2期。監査委員、総務常任委員長、建設企業常任委員長など歴任。55歳

このたび、私たちは議長ならびに副議長に就任いたしました。その使命と職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

現在、社会全体で新型コロナウイルスとの共存、物価高騰や少子化など、かつてない課題に直面しています。また、生活様式や働き方も多様化している中、本市ではSDGs未来安心都市・明石を

目指し、こどもを核としたまちづくり、誰にもやさしいまちづくりを進めたことで、今では「選ばれるまち」となりました。今後とも市民の皆さまが安心して暮らせる持続可能なまちづくりを

目指して、市民生活の支援やさらなる子育て支援の充実、次世代を担う子どもたちが安全で安心して学べる教育環境の整備、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるように高齢者や障害者への支援、近年増加している想定外の自然災害等への防災対策などを推進していきます。

二元代表制の一翼を担う市議会といたしましては、市民のニーズを把握し、真摯な議論を重ね、市民の信頼と期待に応えられる議会運営に努めてまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

は、低所得の子育て世帯に生活支援特別給付金を支給する令和5年度明石市一般会計補正予算(第1号)を全会一致で可決しました。決りかたは、訴えの提起専ら決りかたの報告や損害賠償額の決定につき市長専決処分を行った報告6件を了承しました。

監査委員

竹内きよ子

監査委員

井藤圭順



在職2期。総務常任委員長、文教厚生常任委員長など歴任。63歳

令和5年度明石市一般会計補正予算(第1号)の概要 補正額 4億6千万円

物価高騰に直面し、影響を受ける子育て世帯に対し、特別給付金を支給します。

名称	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金
区分	ひとり親世帯 左記以外の子育て世帯
対象者(①~⑤のいずれかに該当する者)	① 令和5年3月分の児童扶養手当の支給を受けている者 ② 公的年金等の受給により、令和5年3月分の児童扶養手当の支給を受けていない者 ③ 食費等の物価高騰の影響を受けて家計が急変している者で、児童扶養手当の受給者と同等水準の収入であるもの ④ 「令和4年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活特別給付金(ひとり親世帯以外分)」の支給対象者 ⑤ 食費等の物価高騰の影響を受けて家計が急変し、住民税非課税相当の収入となった者
給付額	児童1人当たり5万円
財源	国庫補助金(10/10)

事業スケジュール

日程	内容
5月	市ホームページ等で周知広報 対象者①・④に対して給付金を支給(申請不要)
6月	広報あかしで周知広報 対象者②・③・⑤に対して給付金の支給開始(申請必要)

明石ケーブルテレビ

市議会アワー

111ch たこチャンネル
717ch ミルルチャンネル

「新議長、副議長、委員長に聞く」

尾倉議長と灰野副議長や4つの常任委員会、議会運営委員会の委員長が今後取り組むべき課題や抱負を語ります。



放送日時
6月12日(月)~18日(日)
午後8時~8時30分

